



機械受注統計調査報告

Machinery Orders

平成 29 年 8 月 実績

August 2017



平成 29 年 10 月

October 2017

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics
Economic and Social Research Institute
Cabinet Office, Government of Japan

目 次

2017（平成29）年8月の機械受注動向	
（1）需要者別受注動向（季節調整値）	1
（2）民需の業種別受注動向（季節調整値）	1
（3）販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）	1
〈参考1〉 需要者別の機械受注動向（原数値）	6
〈参考2〉 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）	6
統 計 表	8

（ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

1987（昭和62）年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月調査より、日本標準産業分類の改定（2007（平成19）年11月）に準拠して、需要者（業種）分類を変更した。表章については、2016（平成28）年1月調査より、従来の移行期表章分類から変更後の調査票分類へと移行した（巻末の対照表を参照）。

（ 使 用 上 の 注 意 ）

- 1989（平成元）年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。ただし、主要系列（受注総額、民需、民需（船舶・電力を除く）、製造業、非製造業、非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需、代理店）については、RegARIMAを利用した季節調整を検討し、適用している（詳細は巻末を参照）。
- 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。
- 「携帯電話」については2005（平成17）年度より調査を行ってきたため、2004（平成16）年度以前については、「携帯電話」を除いた系列を計算することはできない。このため、2011年4月調査以降、本調査は2005年度開始となる。
- 業種分類及び機種分類の定義は、本調査HPを参照。
http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu_juchu.html
- 2017（平成29）年6月調査より、機種分類の表章を一部変更した（「電子計算機」と「半導体製造装置」を統合し、「電子計算機等」とした）。

2017（平成29）年8月の機械受注動向

(1) 需要者別受注動向（季節調整値） [第1表及び第1・2図参照]

最近の機械受注の動向を前月比で見ると、受注総額は、7月4.9%増の後、8月は8.5%増となった。

需要者別にみると、民需は、7月1.1%増の後、8月は6.2%増となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、7月8.0%増の後、8月は3.4%増となった。内訳をみると製造業が16.1%増、非製造業（船舶・電力を除く）が3.1%増であった。

一方、官公需は、7月3.3%減の後、8月は防衛省、「その他官公需」で減少したものの、国家公務、地方公務等で増加したことから、17.8%増となった。

また、外需は、7月9.1%増の後、8月は電子・通信機械、鉄道車両等で減少したものの、原動機、重電機等で増加したことから、11.5%増となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、7月0.6%減の後、8月は重電機、原動機等で増加したものの、道路車両、産業機械等で減少したことから、0.6%減となった。

(2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） [第2表参照]

製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、7月2.9%増の後、8月は16.1%増となった。

8月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは17業種中、鉄鋼業（83.0%増）、食品製造業（72.8%増）等の13業種で、石油製品・石炭製品（22.5%減）、「その他輸送用機械」（14.0%減）等の4業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、7月1.7%増の後、8月は0.0%減となった。

8月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは12業種中、リース業（30.2%増）、金融業・保険業（24.2%増）等の9業種で、運輸業・郵便業（36.3%減）、卸売業・小売業（4.3%減）等の3業種は減少となった。

(3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） [第3図参照]

8月の販売額は2兆3,117億円（前月比3.5%増）で、前3か月平均販売額は2兆2,948億円（同0.2%減）となり、受注残高は29兆8,401億円（同0.7%増）となった。この結果、手持月数は13.0か月となり、前月差で0.1か月増加した。

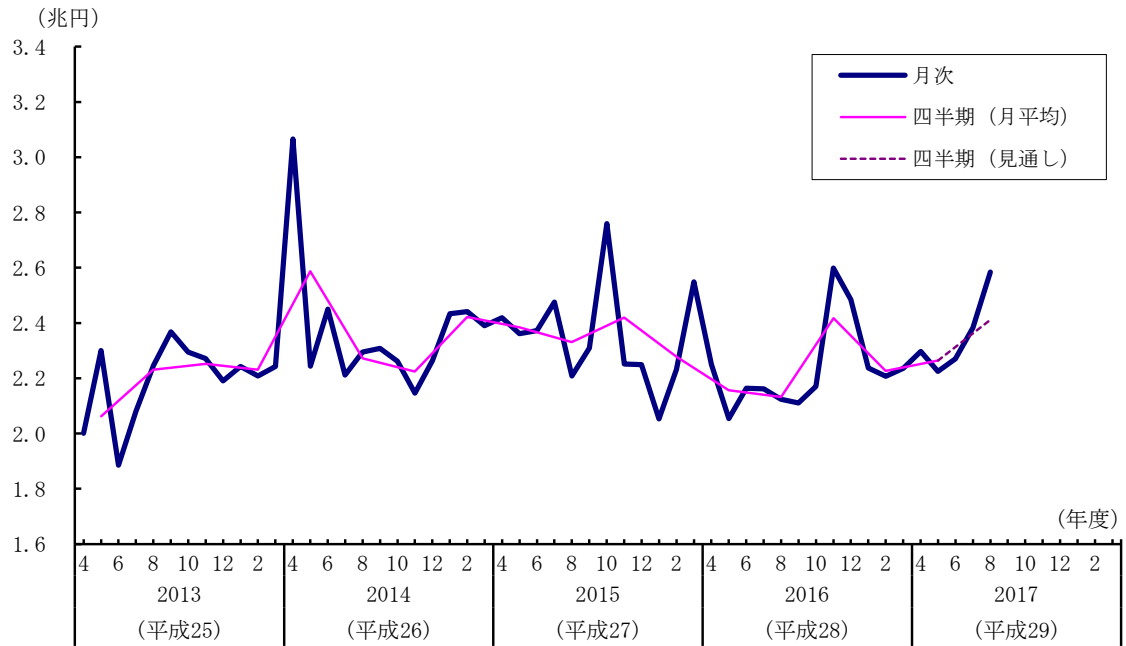
第1表 主要需要者別機械受注額

(単位：億円，%)

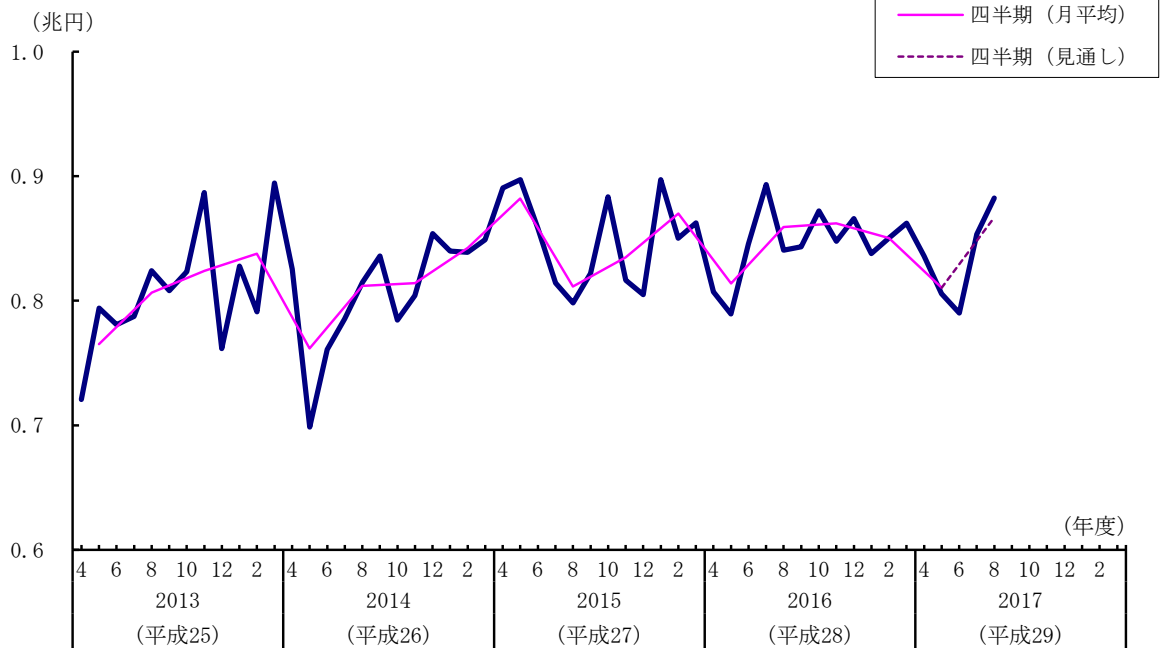
期・月 需要者	2016年 (平成28年)		2017年 (平成29年)		2017年 (平成29年)			
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	5月	6月	7月	8月
受注総額	63,964 (-1.1) [-9.0]	72,530 (13.4) [0.8]	66,798 (-7.9) [-4.7]	67,918 (1.7) [4.6]	22,246 (-3.1) [8.2]	22,706 (2.1) [4.3]	23,822 (4.9) [10.2]	25,839 (8.5) [21.5]
民需	30,395 (2.5) [0.9]	33,701 (10.9) [7.3]	28,841 (-14.4) [-12.1]	28,588 (-0.9) [-2.7]	9,442 (1.7) [-2.6]	9,859 (4.4) [-3.0]	9,972 (1.1) [-2.9]	10,589 (6.2) [3.2]
〃 (船舶・電力を除く)	25,771 (5.5) [6.5]	25,859 (0.3) [3.6]	25,507 (-1.4) [-1.0]	24,314 (-4.7) [-1.0]	8,055 (-3.6) [0.6]	7,900 (-1.9) [-5.2]	8,533 (8.0) [-7.5]	8,824 (3.4) [4.4]
製造業	10,520 (1.9) [-0.5]	10,800 (2.7) [3.5]	10,346 (-4.2) [-6.8]	10,733 (3.7) [3.5]	3,656 (1.0) [6.3]	3,458 (-5.4) [-3.2]	3,557 (2.9) [-1.8]	4,130 (16.1) [14.7]
非製造業 (船舶・電力を除く)	15,353 (6.2) [11.8]	15,202 (-1.0) [3.3]	15,206 (0.0) [3.1]	13,696 (-9.9) [-4.5]	4,473 (-5.1) [-4.0]	4,508 (0.8) [-6.9]	4,723 (4.8) [-12.3]	4,869 (3.1) [-2.8]
官公需	7,610 (8.3) [-6.4]	8,639 (13.5) [37.8]	8,475 (-1.9) [-11.4]	6,982 (-17.6) [1.9]	1,846 (-22.0) [-19.7]	2,771 (50.1) [15.8]	2,678 (-3.3) [-1.6]	3,156 (17.8) [25.3]
外需	23,000 (-8.6) [-21.7]	26,571 (15.5) [-12.9]	25,977 (-2.2) [8.0]	28,470 (9.6) [12.4]	9,414 (-5.2) [25.4]	9,124 (-3.1) [8.9]	9,959 (9.1) [30.1]	11,100 (11.5) [44.5]
代理店	3,533 (7.5) [10.1]	3,529 (-0.1) [4.8]	3,608 (2.2) [2.9]	3,759 (4.2) [13.9]	1,230 (-2.0) [21.1]	1,275 (3.6) [11.6]	1,267 (-0.6) [8.2]	1,259 (-0.6) [9.2]

- (備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

第1図 機械受注総額



第2図 民需（船舶・電力を除く）



(備考)

1. 四半期（月平均）は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば7～9月の月平均値は8月の位置に表示)。
2. 「2017年7～9月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2017年6月末時点）」の季節調整値を3で割った数値。

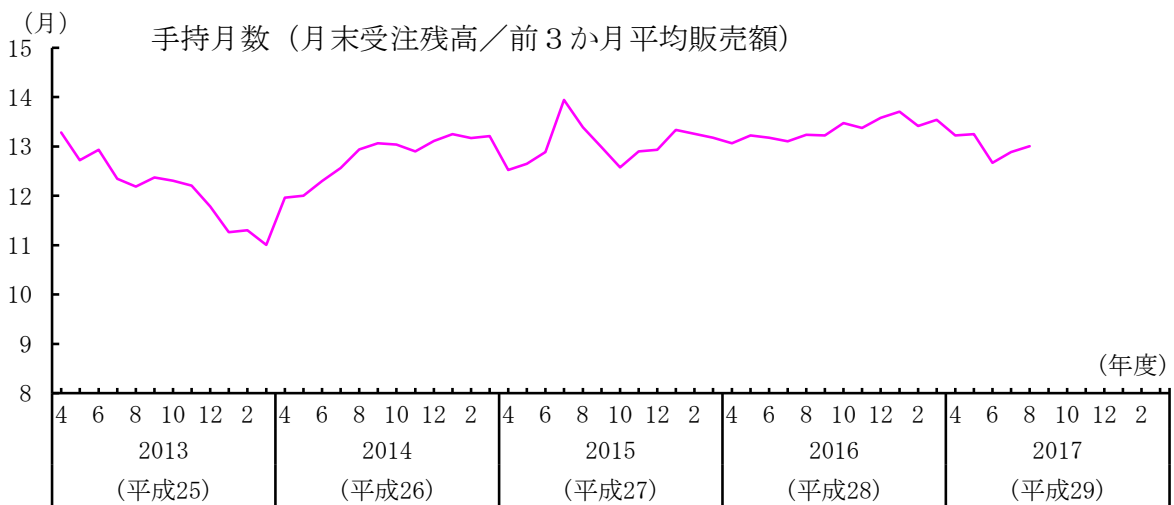
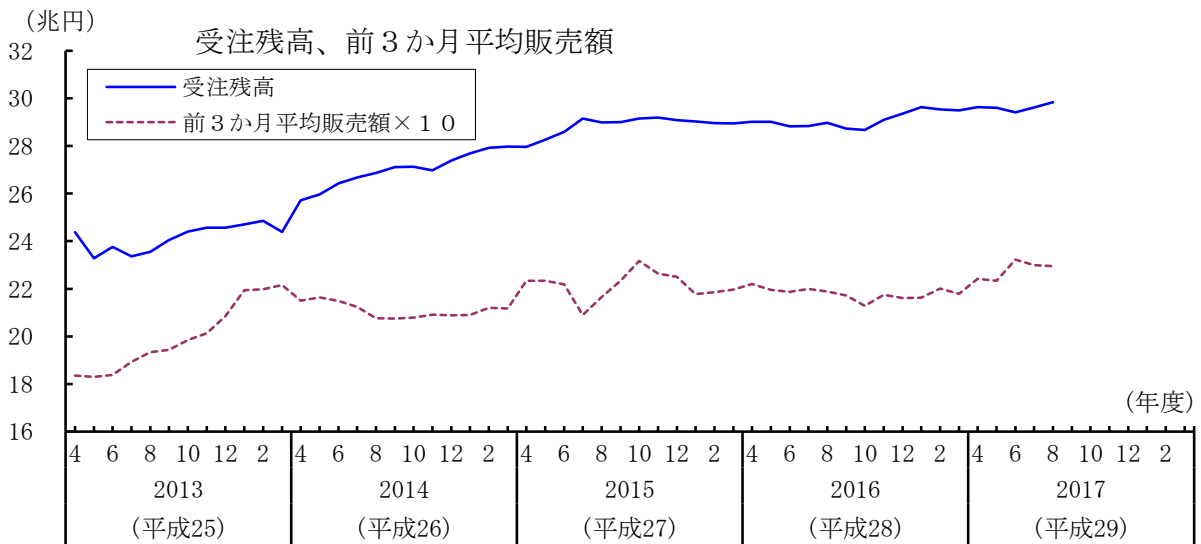
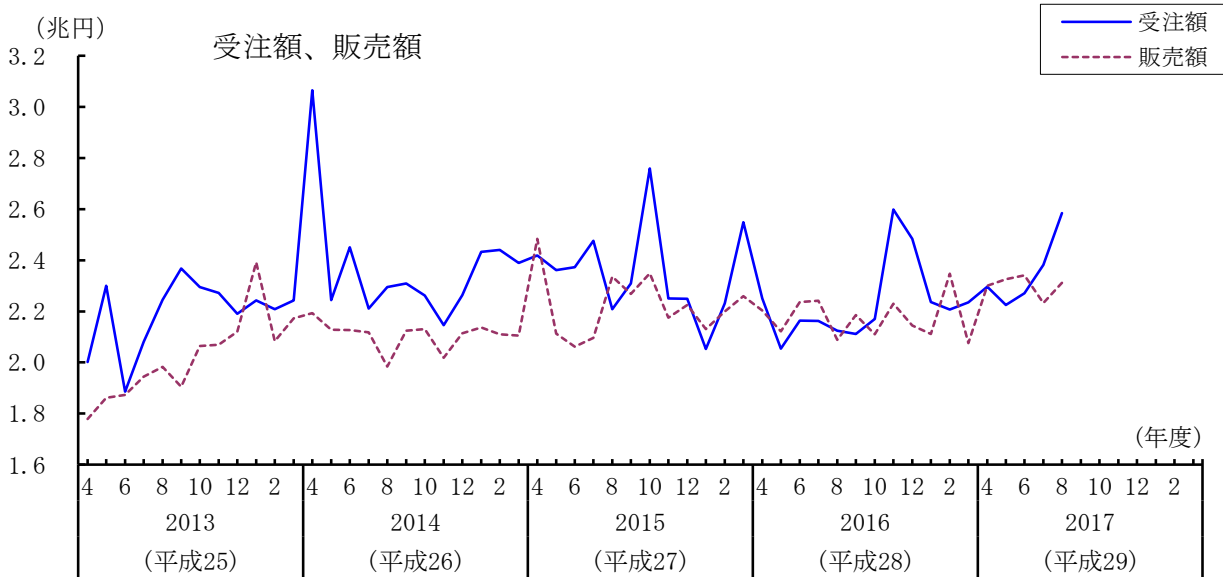
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

需要者	期・月	2016年		2017年		2017年			
		(平成28年) 7～9月	10～12月	(平成29年) 1～3月	4～6月	(平成29年) 5月	6月	7月	8月
I 製造業計		1.9	2.7	-4.2	3.7	1.0	-5.4	2.9	16.1
1 食品製造業		2.3	-10.0	9.4	-9.3	-8.1	17.3	5.7	72.8
2 繊維工業		-23.2	5.8	41.1	87.3	-64.8	338.4	-79.2	32.1
3 パルプ・紙・紙加工品		-20.9	27.2	96.6	-43.7	-39.5	186.6	-30.9	-5.9
4 化学工業		1.6	10.9	-12.8	-5.8	8.4	-6.2	1.3	16.7
5 石油製品・石炭製品		-44.2	111.0	-64.4	45.0	88.4	-4.1	-47.3	-22.5
6 窯業・土石製品		-2.2	62.2	-32.4	1.7	-36.5	17.6	2.6	62.4
7 鉄鋼業		4.7	-6.0	-9.3	10.3	-8.3	20.1	-39.8	83.0
8 非鉄金属		-18.1	131.5	-25.0	-76.4	53.6	-33.4	189.7	31.0
9 金属製品		53.3	-32.8	17.2	8.9	-19.5	6.2	-17.0	1.8
10 はん用・生産用機械		3.3	-3.2	7.3	11.5	-8.2	-0.7	-8.6	23.1
11 業務用機械		5.6	0.2	-1.1	18.8	3.3	-12.7	-6.7	24.7
12 電気機械		2.4	0.6	7.7	-10.0	5.8	-4.1	-4.4	7.6
13 情報通信機械		0.1	-8.6	5.1	18.1	17.9	-26.8	18.0	7.7
14 自動車・同付属品		2.4	7.7	-5.7	11.4	-7.4	12.7	0.8	-4.3
15 造船業		0.9	2.0	-16.9	-23.2	31.5	-26.6	57.2	28.7
16 「その他輸送用機械」		-34.5	-12.9	-7.8	5.1	-18.5	14.0	-1.2	-14.0
17 「その他製造業」		4.8	-5.7	9.1	15.1	12.5	-14.1	6.7	9.6
II 非製造業計		1.9	16.8	-14.9	-8.5	3.8	6.3	1.7	-0.0
18 農林漁業		-3.6	16.7	-18.7	27.6	-2.0	-6.8	-4.2	1.7
19 鉱業・採石業・砂利採取業		-6.3	16.7	-7.8	-4.8	-4.2	-4.9	13.8	13.0
20 建設業		4.1	9.8	17.1	-29.0	-25.3	1.9	10.1	-4.0
21 電力業		-23.6	121.0	-45.2	-0.1	33.6	3.9	-28.2	2.2
22 運輸業・郵便業		18.8	-20.9	-15.4	-12.1	-21.7	14.1	64.9	-36.3
23 通信業		18.8	-1.6	-12.3	0.7	-29.5	28.8	-21.0	3.8
24 卸売業・小売業		22.1	-11.7	-21.2	20.4	13.4	5.4	-6.5	-4.3
25 金融業・保険業		-0.0	-10.4	30.3	-19.3	59.2	3.7	-7.4	24.2
26 不動産業		-18.2	4.0	55.4	-42.4	22.2	11.6	-21.5	10.4
27 情報サービス業		1.9	-3.1	14.3	-11.4	2.6	0.8	7.8	5.2
28 リース業		24.1	-8.4	9.9	5.6	-19.5	-21.1	20.3	30.2
29 「その他非製造業」		-3.0	19.3	10.3	-21.1	1.2	16.0	-23.2	57.7

- (備考) 1. 季節調整系列の対前期(月)増減率。
 2. 「繊維工業」、「窯業・土石製品」は、従来は「その他製造業」に含まれていた。
 3. 「はん用・生産用機械」は、従来の「一般機械」から「事務・サービス・娯楽用機械」を除いたもの。
 4. 「業務用機械」は、従来の「精密機械」に「一般機械」の「事務・サービス・娯楽用機械」を加えたもの。

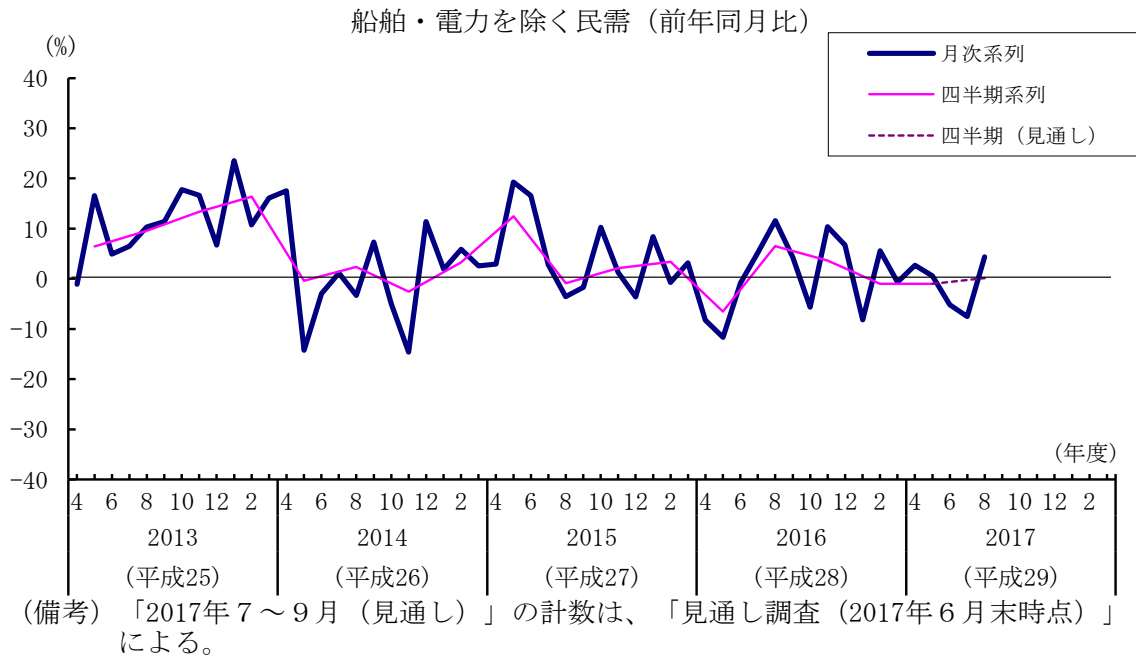
第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数
(総額、季節調整値)



<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

8月の受注総額は、2兆1,494億円の前年同月比21.5%増となった。

第4図 機械受注額の動向



需要者別にみると、民需は8,435億円で前年同月比3.2%増（船舶・電力を除くと同4.4%増）、官公需は1,988億円で同25.3%増、外需は9,891億円で同44.5%増、また、代理店は1,180億円で同9.2%増となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比14.7%増となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは17業種中、非鉄金属（131.7%増）、食品製造業（55.0%増）等の13業種で、石油製品・石炭製品（56.8%減）、「その他輸送用機械」（29.3%減）等の4業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注は、前年同月比3.5%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは12業種中、不動産業（46.1%増）、鉱業・採石業・砂利採取業（45.8%増）等の7業種で、運輸業・郵便業（40.2%減）、通信業（19.9%減）等の5業種は減少となった。

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

8月の受注額を機種別に前年同月比で見ると、船舶（196.3%増）、原動機（80.5%増）等で増加となった。反面、鉄道車両（53.2%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比21.5%増となった。

また、民需からの受注額を機種別に前年同月比で見ると、原動機（30.1%増）、船舶（30.0%増）等で増加となった。反面、鉄道車両（54.4%減）、航空機（26.5%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比3.2%増となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

(単位：%)

	2016年 (平成28年) 7～9月	10～12月	2017年 (平成29年) 1～3月	4～6月	2017年 (平成29年) 5月	6月	7月	8月
民 需 総 額	0.9	7.3	-12.1	-2.7	-2.6	-3.0	-2.9	3.2
原 動 機	-32.6	50.3	-40.0	-16.1	-5.8	1.1	-7.4	30.1
重 電 機	-25.7	12.2	-29.5	-15.7	-33.0	9.1	-14.3	3.0
電子・通信機械	-2.2	-5.9	-0.3	6.3	5.8	8.9	0.4	4.2
産 業 機 械	11.0	16.0	11.0	9.1	7.7	7.6	-4.5	5.9
工 作 機 械	-14.2	-3.2	-0.3	15.7	25.0	2.2	12.1	17.5
鉄 道 車 両	222.0	0.1	15.0	-54.3	-28.9	-77.4	-58.4	-54.4
道 路 車 両	27.7	57.6	13.6	0.4	-0.3	1.0	10.4	-10.8
航 空 機	-9.2	-56.4	-10.6	-63.7	-30.6	-79.9	-65.4	-26.5
船 舶	129.6	-55.4	-60.1	-61.1	-88.0	-24.7	995.0	30.0

(2) 販売額

8月の販売額を機種別に前年同月比で見ると、航空機（45.8%増）、工作機械（37.4%増）等で増加となった。反面、鉄道車両（21.7%減）、重電機（4.1%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比10.4%増となった。

(3) 受注残高

8月の受注残高を機種別に前年同月比で見ると、工作機械（11.1%増）、鉄道車両（7.5%増）等で増加となった。反面、船舶（18.5%減）、航空機（1.6%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比3.0%増となった。

2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

(1) 鉄構物

8月の受注額は、238億円で前年同月比4.5%増、販売額は、173億円で同52.1%減、受注残高は、5,002億円で同18.3%増となった。

(2) 軸受

8月の受注額は、535億円で前年同月比13.8%増、販売額は、543億円で同16.8%増、受注残高は、878億円で同10.5%増となった。

(3) 電線・ケーブル

8月の受注額は、996億円で前年同月比15.0%増、販売額は、942億円で同13.8%増、受注残高は、1,433億円で同47.2%増となった。

機 械 受 注 実 績 調 査 統 計 表
目 次

[グラフ]

第1図 主要需要者別受注額	-----	9
第2図 主要業種別受注額	-----	12
第3図 主要機種別受注額	-----	17

[計 数 表]

需要者別受注額（季節調整系列）	-----	18
機種別受注残高手持月数（ 〃 ）	-----	23
需要者別受注額（原系列）	-----	24
機種別受注額（ 〃 ）	-----	29
機種別販売額（ 〃 ）	-----	33
機種別受注残高（ 〃 ）	-----	37
機械受注統計調査結果表（2017年8月実績）	-----	41

(別紙)

需要者（業種）分類の表章変更	-----	45
----------------	-------	----

(巻末)

季節調整の検討結果	-----	46
-----------	-------	----